

## 東京五輪へ向け おもてなし伝授

### 加美農高でマナー講座

2020年東京五輪・パラリンピックを見据え、県内の児童生徒にもてなしの心とマナーを身に付けてもらう講座が6日、色麻町の加美農高であった。県教委の教育事業の一環。

1年生73人が参加し、日本航空の客室乗務員だった



江上氏(中央)から書類の渡し方を学ぶ生徒

江上いずみ筑波大客員教授が講師を務めた。江上氏は「主従関係と対価が発生するサービスと異なり、おもてなしは見返りを求めない」と説明。「相手に喜んでももらうため、心を尽くすことが大事」と語った。

客室乗務員時代に身に付けた接客マナーも紹介。生徒たちは好感が持てるお辞儀やあいさつの仕方、外国人と握手する際のマナーを学んだ。農業科1年の富田龍晴さん(15)は「相手への正しい接し方を学ぶことができた。学んだことを地域への農産品販売や、就職試験の場などでも生かしたい」と語った。

「おもてなし講座」は計16校で開かれる。7日に名取高と名取市名取二中、8日には石巻西高と石巻市大須中で開講する。